

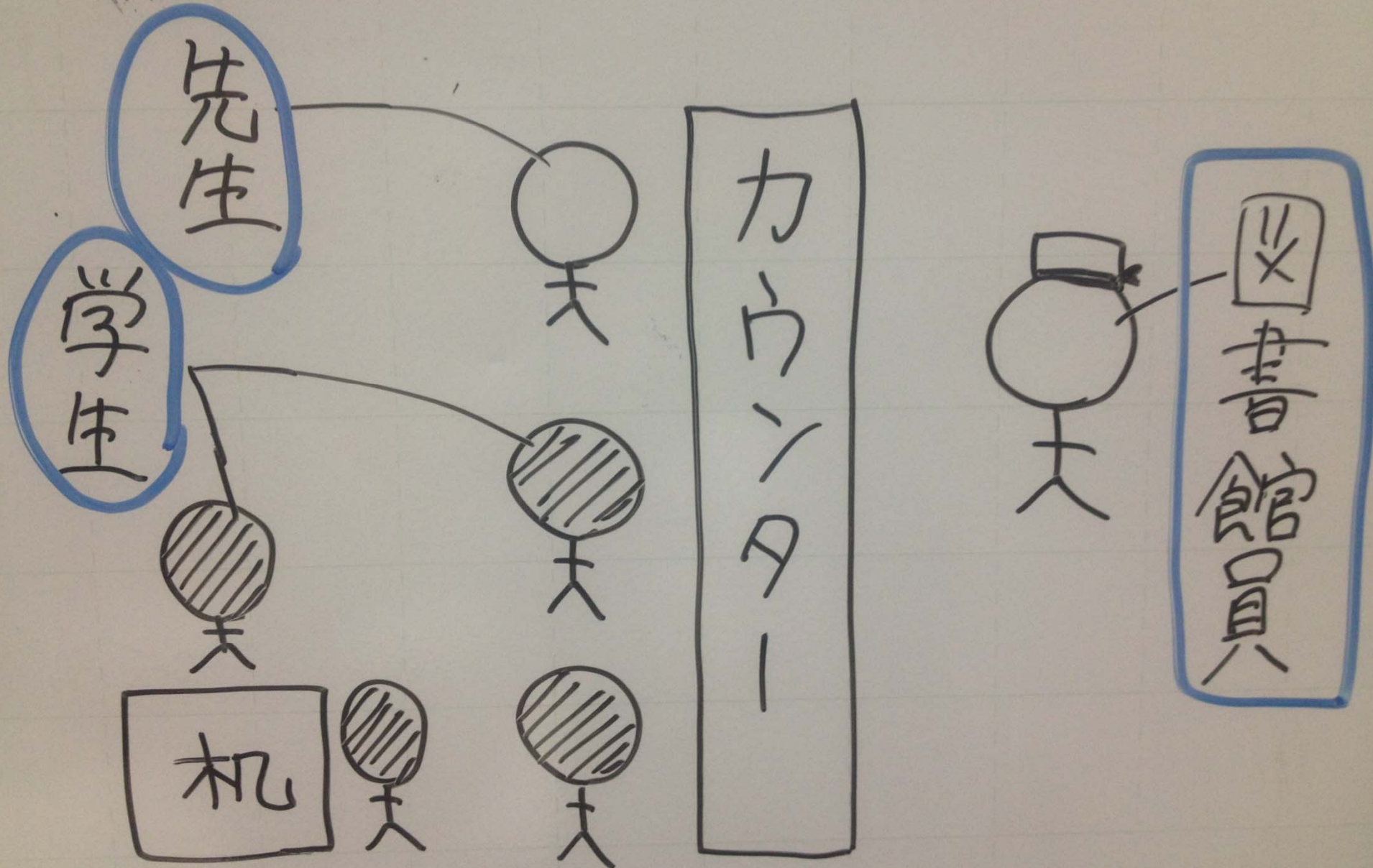
平成26年度学術情報リテラシー教育担当者研修
グループ討議成果物

「らっしやい！！
行列のできる七飯店経営計画」

テーマ： e 指導内容 / 7班



発表日：2014/11/28
会 場：国立情報学研究所



当店の問題点

- 客1(1年生)・・・食べ残しが多い(ガイダンスが身についてない)
原因:全部のせ→学生には苦しい
- 客2(2年生)・・・麺伸び状態(1年次にガイダンスを受けたっきり)
原因:お腹がすいていない(必要性を感じていない)



当店の問題点

- 客3・4(3・4年生)・・・閉店前の駆け込み・胃もたれ状態
原因: 卒論に迫られ無理やり来る
DBやILLなど知らないことがあるけどできる気になっている。
- 常連客(教員)・・・食べられれば何でもいい
講座の内容には興味がない
→図書館との温度差(コミュニケーション不足)

経営計画

- P・・・客層にあったメニュー提供をするために常連客とコミュニケーションを取りメニュー表を作る
- D・・・メニュー表を活用して講座を開催
- C・・・アンケート
- A・・・メニュー改善



メニュー表 (学年別モデルケース)

入学前 (宣伝)	館内ツアー	OPAC検索	レポート (構成)	レポート (引用・参考)	論文検索	新聞検索	ILL	復習ツアー	データベース講座 (学科)	データベース講座 (就活)	卒業時 (案内パンフ)
----------	-------	--------	-----------	--------------	------	------	-----	-------	---------------	---------------	-------------

1 年 生

2 年 生

3 年 生

4 年 生

4年生

個 別 対 応

まとめ

- 4年間通して卒業後も使える能力が身に付く
 - ①コンテンツの細分化
 - ②コンテンツのレベル分け
 - ③学年別モデルケースの提示
 - ④個別の復習あり
- メニュー表が教員との共通言語になる
ニーズの把握がしやすくなる
- アンケートをして毎年改善していく



